




建設部会活動 報告書

中国本部建設部会

事業名称	公益社団法人日本技術士会 中国本部 建設部会 2024年度 建設部会 第2回講演会		
実施時期	2024年12月21日(土) 13:00~17:00		
実施場所	4会場(広島、鳥取、島根、山口)での集合形式と中国本部会議室から Teams を使った Web 配信(Web 個人視聴)のハイブリッド方式で実施		
参加人数	86名(広島23名、鳥取1名、島根2名、山口3名、 Web 個人視聴 57名)	CPD	3時間30分
事業内容 と感想	<p>中国本部建設部会の2024年度第2回講演会を以下のとおり実施した。</p> <p>【テーマ】 観光まちづくりによる地域活性化の取組み</p> <p>【目的】 人口減少、少子高齢化、空き家の増加などの課題が地方部で顕在化しており、「観光まちづくり」の観点からの地方創生も盛んに行われている。観光地を盛り上げるためには、地域が主体となり自然や文化などの資源を活かし、官民の協力による体制作りが不可欠で、来訪客のニーズを満たす魅力ある場所を提供し、発信しつづけることが大切である。この講演会では、「観光まちづくり」による地域活性化に取り組んでいる講師の方々にお話しいただく。人口減少や空き家の増加などのそれぞれの地域が持つ課題を考え、その解決に向けたヒントを得られる機会となることを期待している。</p> <p>【講演内容】</p> <p>開会挨拶：13:00~13:10</p> <p>講演1：13:10~14:40</p> <p style="padding-left: 20px;">演題「観光地域づくりの意義と今後の方向」</p> <p style="padding-left: 20px;">講師：吉原俊朗氏(安田女子大学 現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科 講師)</p> <p style="padding-left: 20px;">講演概要：観光による地域振興の目的や意義を整理するとともに、中国地域を訪れる外国人観光客の現状データ等から、今後、地域が検討すべき課題を提案する。</p> <p style="text-align: right;">  吉原先生 </p> <p>講演2：14:50~15:50</p> <p style="padding-left: 20px;">演題「出雲大社神門通りの賑わいのある街並み復活について」</p> <p style="padding-left: 20px;">講師：森山昌幸氏(株式会社バイタルリード 代表取締役)</p> <p style="padding-left: 20px;">講演概要：出雲大社のメイン参詣道である神門通りの再生について、美装化とシェアドスペースによる歩車共存の道路整備、歩車共存の道路整備、沿道の景観協定、観光エリアの拡大に対応したモビリティ施策などについて紹介する。</p> <p style="text-align: right;">  森山氏 </p> <p>講演3：15:50~16:50</p> <p style="padding-left: 20px;">演題「CSV 経営の推進をきっかけとした観光まちづくり・地域活性化の取り組み」</p> <p style="padding-left: 20px;">講師：水木智英氏(中電技術コンサルタント(株) 都市・建築部 地域デザイン課担当課長)</p> <p style="padding-left: 20px;">講演概要：社会的価値と経済的価値の両立を目指す CSV 経営(Creating shared value)の推進をきっかけとした、観光まちづくりや地域活性化への取り組みについて紹介する。</p> <p style="text-align: right;">  水木氏 </p> <p>開会挨拶：16:50~17:00</p>		



広島会場での講演会の様子

【参加者状況】 申込者：93名（会員79名、非会員14名）

参加者：86名（各会場合計29名、Web 個人視聴57名）

アンケート回答者54名（中国地方39名、中国地方外15名）

【評価】

- ① アンケートの9割を超える方が満足との回答があり、「地方活性化や街づくりについてたくさんのヒントが得られた」、「通常のコンサル業務とは異なる視点での活動について興味深い話が聞けた」などのコメントが多数寄せられた。
- ② 専門分野ではなかったが、分かりやすい講演で満足したとのコメントも複数あった。
- ③ 講演時間もスケジュール通りに進み、「タイムスケジュール管理がしっかりなされていて良かった」とのコメントのもあり、トラブルもなく適切に運営できた。
- ④ Web配信に当たっては、当日にTeamsが接続できないとの問い合わせが1件あり、メールによる対応を行ったが、その他はトラブルもなかった。
- ⑤ 参加申込は、会員は日本技術士会HPから、非会員はグーグルフォームからとした。参加者の約9割が会員であったため、参加者集計とその後の対応をスムーズに行えた。
- ⑥ 参加費の徴収は、Web聴講者のうち会員は年会費請求時に年会費と共に事務局から一括請求、非会員は銀行振込（振込手数料は参加者負担）、会場参加者は会場支払いを原則としたため、会計処理をスムーズに行うことができた。

【課題】

- ① マイクとスピーカーを購入し、機器の接続方法を見直したことにより、概ね音声のトラブルもなく運営が行えた。ただし、Web参加者の一部から「音声にノイズがかかっており、少し聞き取りづらかった」とのコメントがあった。（ただし、控室で問題ないことは確認済みであるが、どこに問題があったかは不明）
- ② アンケート回収率が63%（回答54名／参加者86名）と低い。運営班のアンケート記載の徹底や、アンケートの方法について今後改善が望まれる。
- ③ アンケートで会員発表を募ったところ1名の希望者があった。
→次回の会員発表者の確保に向けて、メールで確認するなどの対応を行う必要がある。

以上